

厚生労働省委託事業
令和7年度がん総合相談に携わる者に対する研修事業
がん患者に対して提供できるピア・サポート体制の
都道府県調査
～調査結果まとめ～（2025/9/1、速報版）

一般社団法人 日本サイコオンコロジー学会

調査概要

【目的】

- 各都道府県におけるピア・サポーターに対する研修の実施の有無や行政と医療機関の協力体制に関する現状を把握する。

【概要】

- 調査方法：自記式アンケート調査
- 調査実施期間：2025年6月16日～7月23日
- 調査対象自治体数：全都道府県
- 回答数：47(回収率 100%)

		研修会の実施		研修運営に関する部会等の協力体制			登録・派遣体制		ピアサポート活動の把握や質の担保の取り組み				ピア・サポート普及のための部会等の協力				都道府県と拠点病院・病院間の協力体制												
		ピア・サポーター養成研修会の定期的な開催	フォローアップ研修会の定期的な開催	都道府県内で、ピア・サポーターの養成計画を策定し実施するための担当部会(がん診療連携協議会の相談支援部会等)が決まっている	担当部会で、研修会の開催を検討したり、内容を協議したりしている	拠点病院等から研修会の講師・ファシリテーターの協力を得ている	ピア・サポーターの登録制がある	登録されたピア・サポーターの派遣や活動調整を行っている	ピア・サポーターの活動後、ピア・サポーターや活動先の拠点病院等から活動報告を提出してもらう	ピア・サポーターの活動状況や活動意欲などを確認し、定期的に登録者名簿を更新している	ピア・サポーター活動後、その都度ピア・サポーター同士や活動先の担当者で活動の振り返りを行っている	ピア・サポーター同士が交流する機会がある	都道府県内で、ピア・サポーターの活動計画等を策定し実施するための担当部会が決まっている	担当部会でピア・サポーターの登録・更新の制度や活用制度を協議し、ピア・サポーターの活動状況等が共有されている	都道府県ががん診療連携拠点病院が、ピア・サポート活動を都道府県内で進めるためのリーダーシップを取っている	地域がん診療連携拠点病院がピア・サポート活動に主体的に参画している	都道府県はピア・サポーターの活動先の拠点病院等の担当者と協力関係を構築している	ピア・サポーターの金銭面(報償、旅費、日当、ボランティア保険など)のサポートを行っている	拠点病院等が求めるピア・サポーターのニーズ(活動人数・活動内容など)を調査している	ピア・サポート活動や患者サロンにおける好事例や困りごとを調査している	ピア・サポート活動の様子や活動環境の把握に努めている	拠点病院内のピア・サポート活動体制構築をサポーターと一緒に検討する機会を設定している	都道府県内の拠点病院等の間で、ピア・サポーターや患者サロンに関する情報共有の場を設定している						
23	静岡県	○	○			○	○	○	○	○						○	○	○	○	○	○								
24	三重県	○	○				○	○	○							○													
25	滋賀県	○	○				○	○		○	○	○	○	○					○	○			○	○					
26	京都府	○		○		○	○	○		○			○												○				
27	大阪府	○	○				○	○	○									○	○			○							
28	兵庫県	○	○	○	○	○	○				○	○													○				
29	奈良県	○	○	○	○	○	○				○	○						○	○						○				
30	和歌山県																												
31	鳥取県	○	○			○	○										○		○	○					○				
32	島根県	○	○	○		○	○	○			○	○						○											
33	岡山県	○	○				○	○	○									○								○			
34	広島県	○	○				○	○	○	○																			
35	山口県	○(不定期)		○	○							○																	
36	徳島県	○	○			○	○	○										○	○										
37	香川県	○	○				○	○	○									○							○				
38	愛媛県	○	○	○		○	○	○	○									○			○	○			○	○			
39	高知県	○		○	○		○	○	○			○	○	○	○			○	○						○	○			
40	福岡県	○	○			○	○	○	○									○									○		
41	佐賀県	○	○															○									○		
42	長崎県	○	○			○	○	○	○					○	○	○	○	○	○						○	○			
43	熊本県	○	○				○	○	○									○	○		○	○			○	○			
44	大分県	○(不定期)	○(不定期)			○	○	○				○						○											
45	宮崎県																												
46	鹿児島県	○	○			○	○	○										○								○			
47	沖縄県	○	○				○	○	○	○					○	○		○	○									○	
集計		40	36	12	10	21	34	28	18	14	18	24	11	10	13	11	30	20	13	7	11	13				20			

ピア・サポーター養成研修会、フォローアップ研修会の取り組み

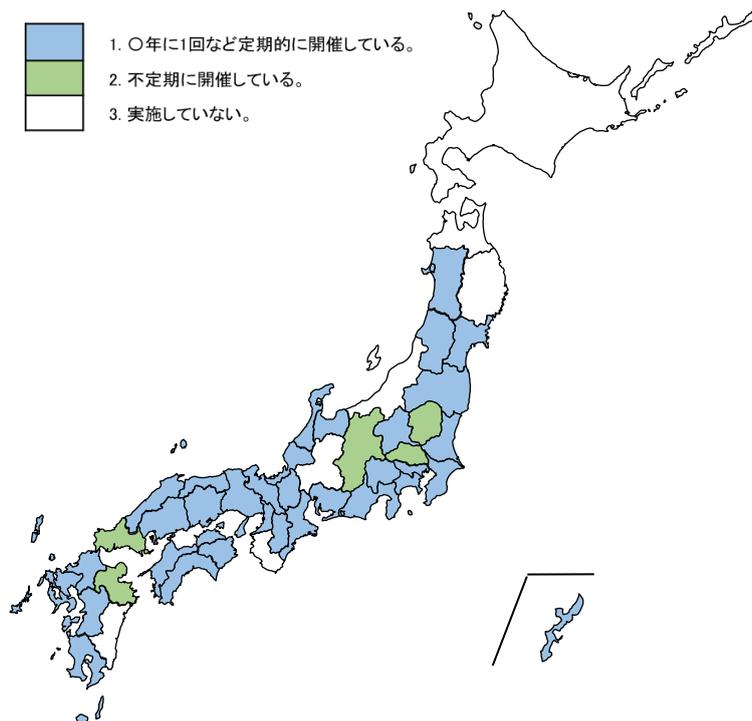
ピア・サポーター養成研修会、フォローアップ研修会の取り組み①： ピア・サポーター養成研修会の定期開催

ピア・サポーターの養成を目的とした研修会を定期的に行っている都道府県は35都道府県であった。

(7)養成研修会は定期的に行っていますか。

(7)	数	割合
1. 〇年に1回など定期的に行っている。	35	74.5%
2. 不定期に行っている。	5	10.6%
3. 実施していない。	7	14.9%
総計	47	100.0%

(7)養成研修会の定期開催



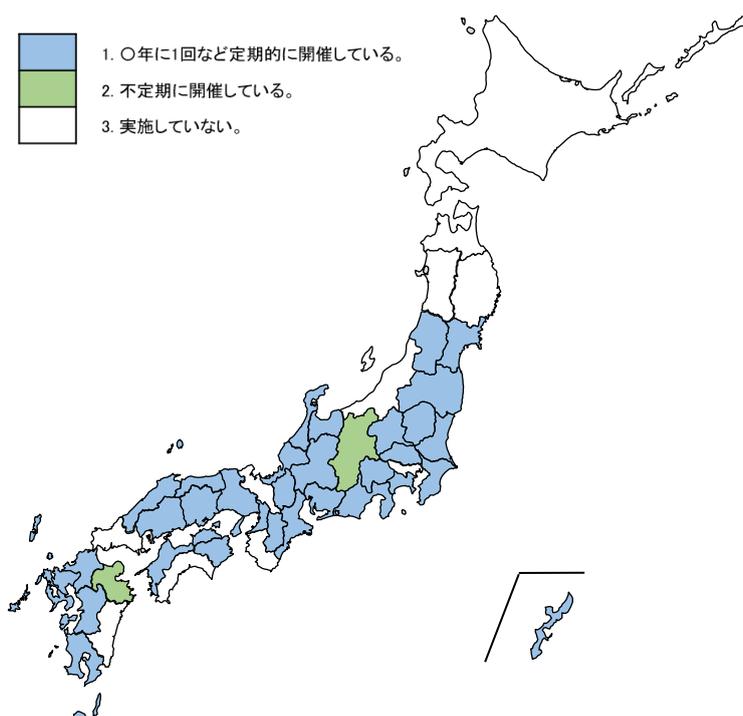
**ピア・サポーター養成研修会、フォローアップ研修会の取り組み②：
フォローアップ研修の定期開催**

ピア・サポートの質を担保するためのフォローアップ研修会を定期的実施している都道府県は34都道府県であった。

(8)フォローアップ研修会は定期的開催していますか。

(8)	数	割合
1. 〇年に1回など定期的開催している。	34	72.3%
2. 不定期開催している。	2	4.3%
3. 実施していない。	11	23.4%
総計	47	100.0%

(8)フォローアップ研修会の定期開催



**ピア・サポーター養成研修会、フォローアップ研修会の取り組み③：
養成・フォローアップ研修会の研修運営主体**

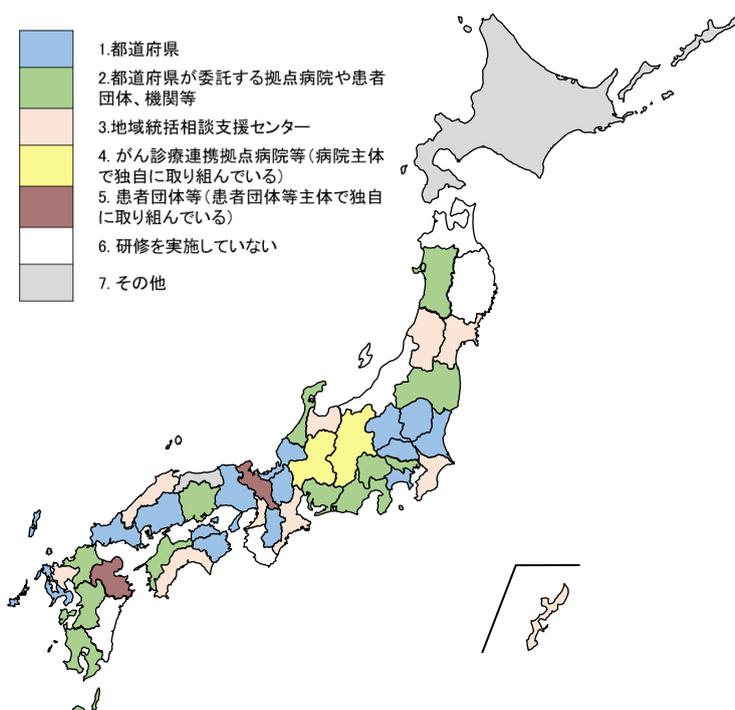
ピア・サポーター向けの研修を実施する運営主体は、都道府県が最も多く、続いて「都道府県が委託する拠点病院や患者団体、機関等」「地域統括相談支援センター(※)」が挙げられた。

(※)この調査では、都道府県がん対策推進事業費(国からの補助金)を受け設置されたものを「地域統括相談支援センター」と定義しています。

(9)養成研修会・フォローアップ研修会(以下研修会)の研修運営を担っている主体はどこですか。

(9)	数	割合
1. 都道府県	14	29.8%
2. 都道府県が委託する拠点病院や患者団体、機関等	12	25.5%
3. 地域統括相談支援センター(※)	10	21.3%
4. がん診療連携拠点病院等(病院主体で独自に取り組んでいる)	2	4.3%
5. 患者団体等(患者団体等主体で独自に取り組んでいる)	2	4.3%
6. 研修を実施していない	5	10.6%
7. その他	2	4.3%
総計	47	100.0%

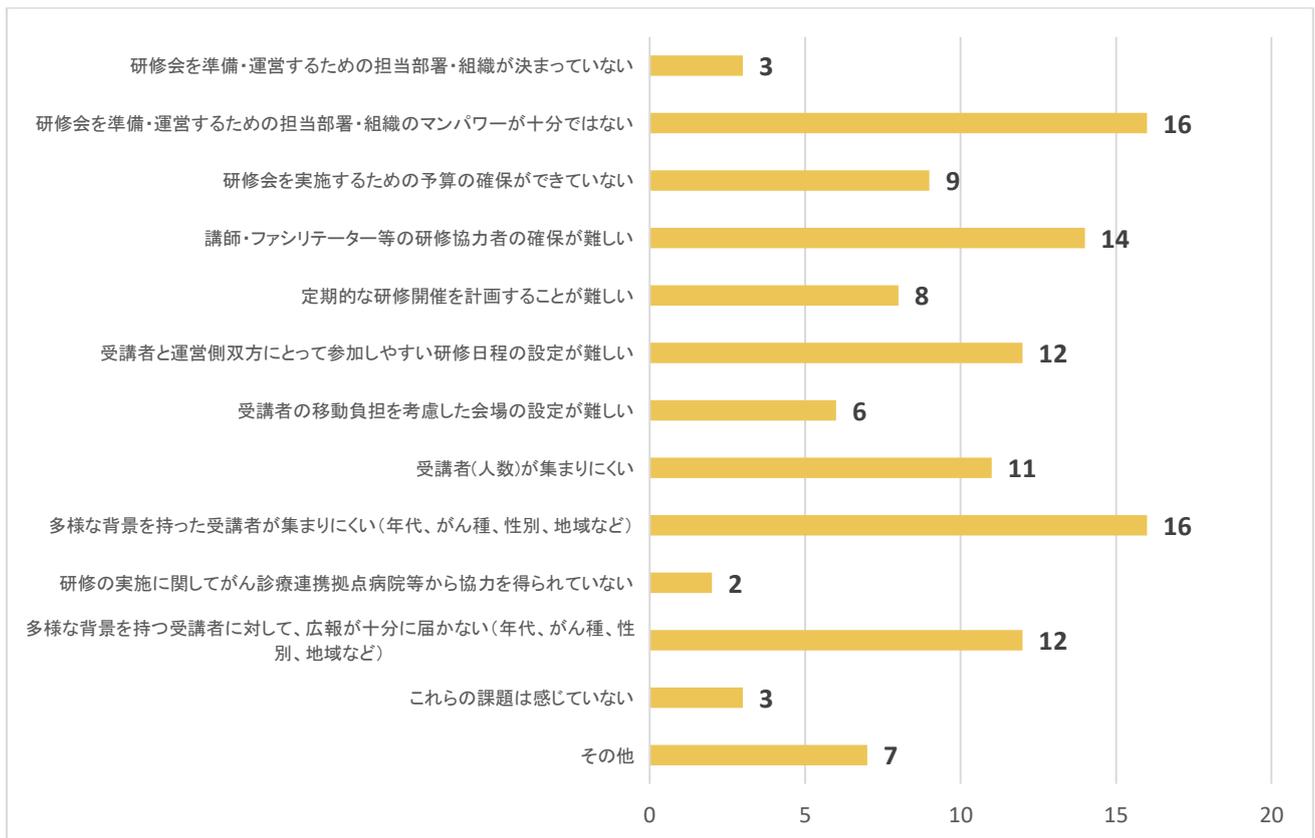
(9) 研修会の研修運営を担っている主体



ピア・サポーター養成研修会、フォローアップ研修会の取り組み④： 研修実施における課題

研修会の運営体制について、「研修会を準備する担当部署・組織のマンパワーが十分ではない」「講師・ファシリテーター等の研修協力者の確保が難しい」「多様な背景を持った受講者が集まりにくい」などの課題が多く挙げられた。

(10)研修会の運営体制について、課題に感じることを選択してください(研修会の開催の有無にかかわらずご回答ください。複数回答可)必須



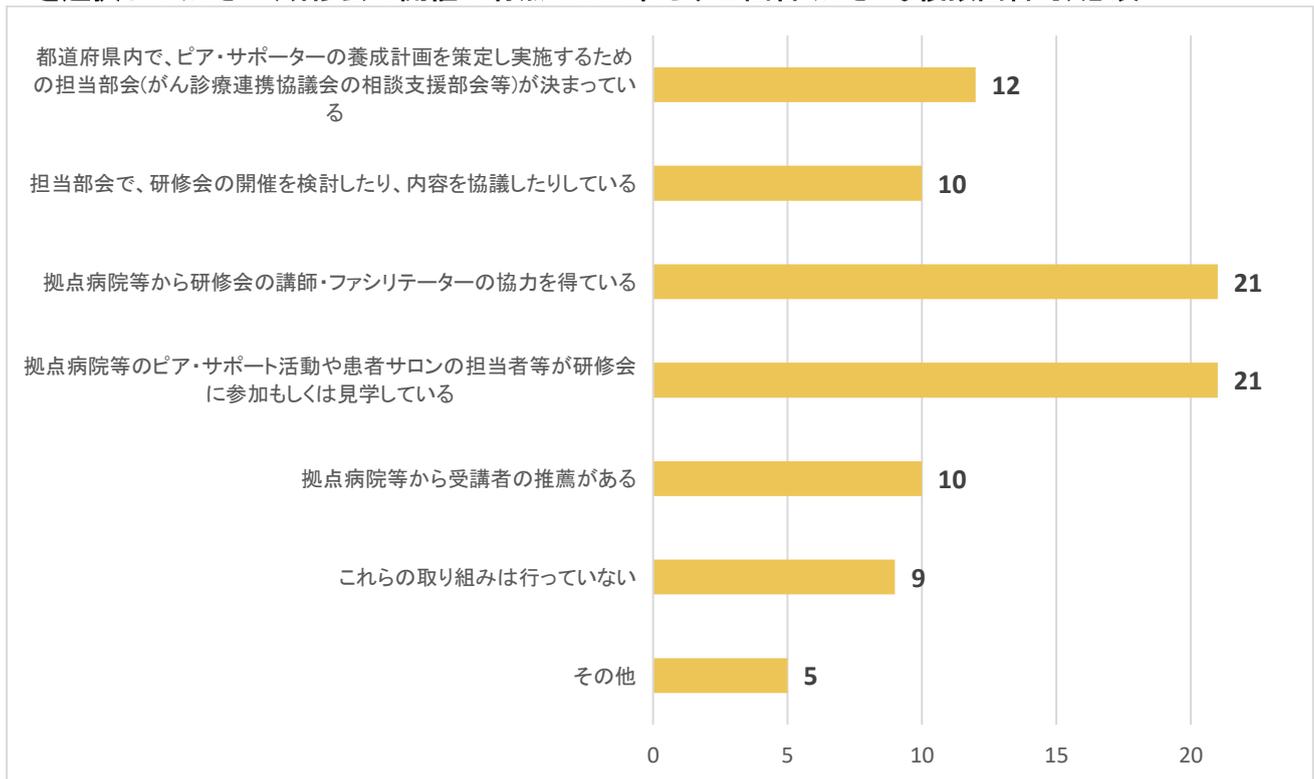
【その他(主な記載)】

- ◇ フォローアップ研修や年度末の振り返りを毎年実施。
- ◇ 市民向け公開講座でピア・サポート活動の啓発。
- ◇ AYA世代の受講者が十分ではない。
- ◇ ピア・サポートのニーズ把握が難しい。
- ◇ 研修会は複数日程で実施しているが、全日程への出席が難しいとの声がある。
- ◇ 距離、地域的要因で参加しにくい。
- ◇ 新規受講者が少なく、世代交代が困難。
- ◇ 各病院で研修を開催しているが、研修内容が病院ごとに異なる。
- ◇ 大学病院に業務負担が集中し、マンパワーに限界がある。
- ◇ オンライン研修では、技術的なサポート体制が不足。
- ◇ 都道府県内で研修講師の担い手がない。

ピア・サポーター養成研修会、フォローアップ研修会の取り組み⑤： 拠点病院との関わり

研修会に関し、都道府県内のがん診療連携拠点病院等（以下、拠点病院等）と行っている連携内容として、「拠点病院等から研修の講師・ファシリテーターの協力を得ている」「拠点病院等のピアサポート活動や患者サロンの担当者等が研修会に参加もしくは見学している」が多く挙げられた。

(11) 研修会に関し、都道府県内のがん診療連携拠点病院等(以下拠点病院等)との連携で、行っているものを選択してください(研修会の開催の有無にかかわらずご回答ください。複数回答可)必須



【その他（主な記載）】

- ✧ 基礎研修を修了したピア・サポーターを対象とした実習を、拠点病院で実施。
- ✧ 医師・MSW をフォローアップ研修に講師として迎え、活動共有と研修を実施。
- ✧ ピア・サポート活動以外（緩和ケア研修会など）でも、ピア・サポーターと医療者等との顔の見える関係づくりを日頃から実施。
- ✧ 協議会で研修状況や課題を共有。
- ✧ ファシリテーターを各拠点病院に依頼。
- ✧ 研修会の周知を各拠点病院に依頼。

ピア・サポーターの登録制度、活動

ピア・サポーターの登録制度の有無/管理者

ピア・サポーター養成研修会をこれまでに実施したことがある43都道府県のうち、ピア・サポーターの養成後のマネジメントの基本となる登録制度を取っているのは34都道府県だった。

また、登録制度があると回答した都道府県で、登録管理を担っている部署は都道府県が最多だった。

(12)ピア・サポーターの登録制度はありますか。

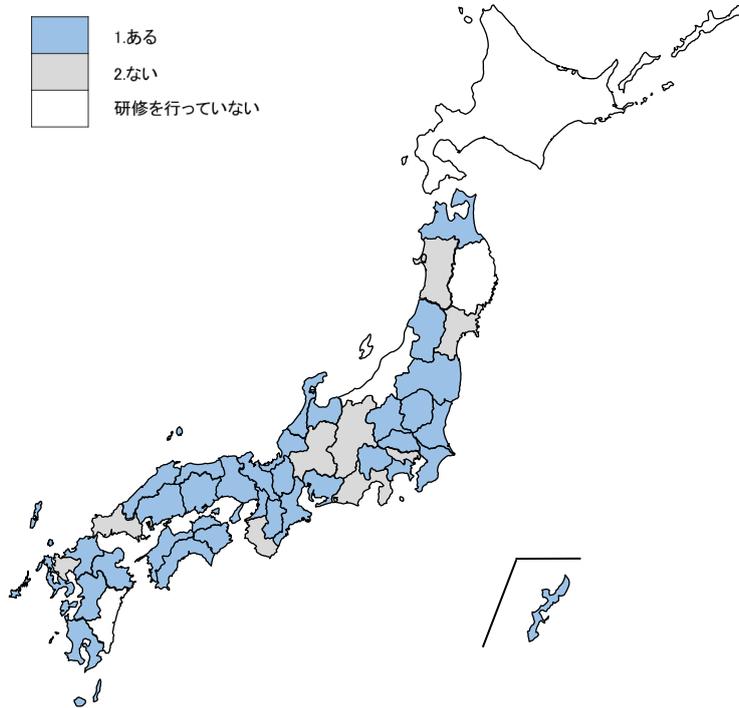
(12)ピア・サポーターの登録制度はありますか。	数	割合
1. ある	34	79.1%
2. ない	9	20.9%
総計	43	100.0%

※ピア・サポーター養成研修会をこれまでに一度でも実施したことのある43都道府県が回答

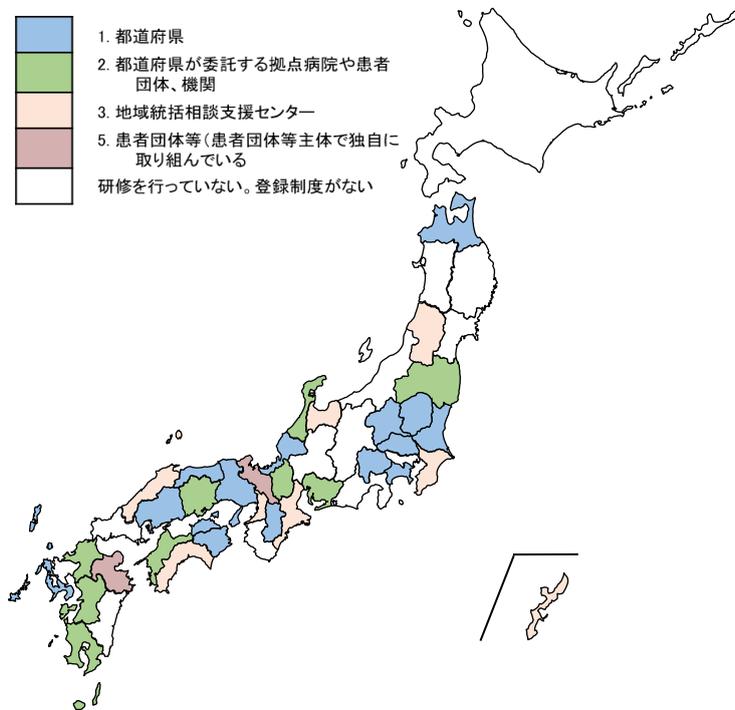
(13)【(12)で「ある」を選択された方】ピア・サポーターの登録や管理(以下、登録管理者)は誰が行っていますか。

(13)	数	割合
1. 都道府県	15	44.1%
2. 都道府県が委託する拠点病院や患者団体、機関等	9	26.5%
3. 地域統括相談支援センター	8	23.5%
4. がん診療連携拠点病院等（病院主体で独自に取り組んでいる）	0	0.0%
5. 患者団体等（患者団体等主体で独自に取り組んでいる）	2	5.9%
総計	34	100.0%

(12) 登録体制の有無



(13) ピア・サポーターの登録・管理を行う機関



ピア・サポーターの活動調整とその方法

養成したピアサポーターをがん診療連携拠点病院等に派遣するなどのマネジメントを行っているのは27都道府県だった。また、活動の調整方法として「登録管理者が登録されたピア・サポーターと活動先を調整し、派遣する」方法をとっているところが最多だった。

(14)登録管理者は、登録されたピア・サポーターの派遣や活動調整を行っていますか。

(14)登録管理者は、登録されたピア・サポーターの派遣や活動調整を行っていますか。	数	割合
1. 行っている	27	79.4%
2. 登録管理者以外が行っている	1	2.9%
3. 行っていない	6	17.6%
総計	34	100.0%

※(13)でピア・サポーターの登録制度があると回答した34県が回答。

(15)【(14)で「行っている」を選択された方】その派遣・活動調整の方法について教えてください

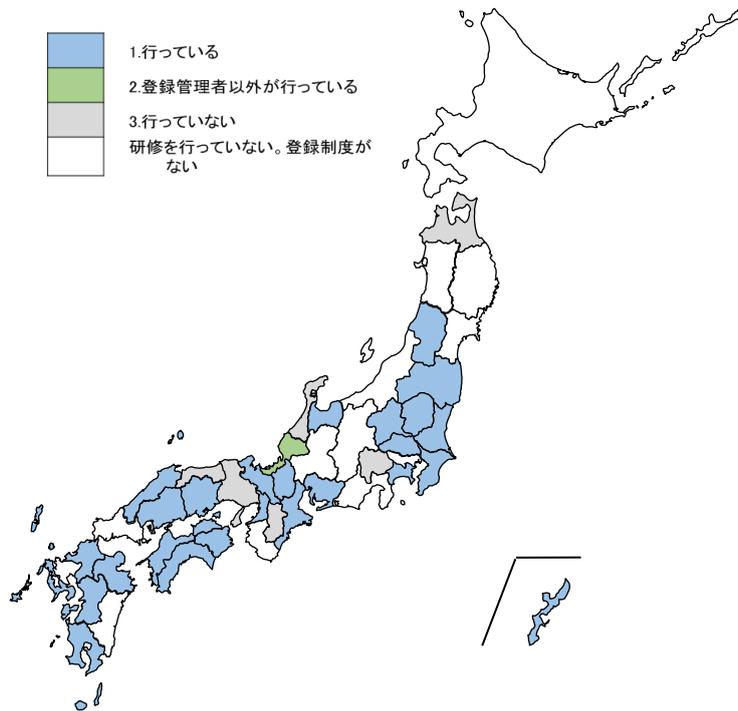
(15)【(14)で「行っている」を選択された方】その派遣・活動調整の方法について教えてください	数	割合
1. 登録管理者が登録されたピア・サポーターと活動先を調整し、派遣する	21	75.0%
2. 登録管理者が登録者名簿を拠点病院等活動先機関と共有し、活動先機関と登録されたピア・サポーターが個別にやりとりの上活動する	3	10.7%
3. その他	4	14.3%
総計	28	100.0%

(15)【(14)で「行っている」を選択された方】その派遣・活動調整の方法について教えてください(その他、自由記載)

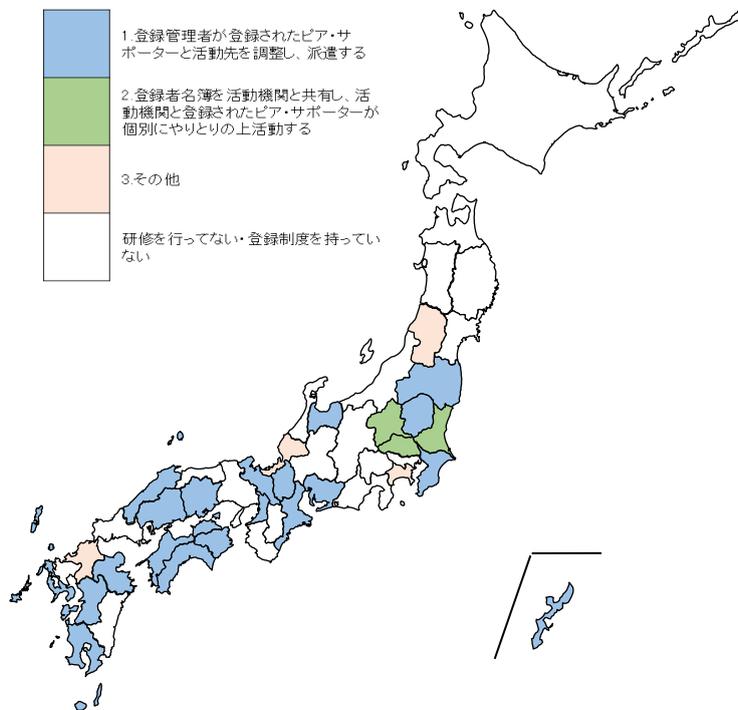
【その他（主な記載）】

- ◇ 登録管理者が活動先と調整し派遣しているが、一部はピア・サポーターと病院等が個別にやりとりの上活動。
- ◇ 各拠点病院の推薦を受け、受講後は推薦元の病院で活動。
- ◇ 拠点病院からの依頼に応じ、登録管理者が調整・紹介。
- ◇ 1.2.両方の方式を行っている。
- ◇ 養成講座修了後に現場デビューする人と、活動経験者をメンターとして一緒に活動。振り返りも実施。

(14) 派遣や活動調整の有無



(15) 派遣や活動調整の方法



ピア・サポーターの登録人数・活動人数

ピア・サポーターの登録制度をとっている都道府県において、登録されている人数、実際に活動している人数については、100名以上登録されている都道府県もあった。一方、登録人数や活動人数が不明・把握していないという都道府県もあった。

2024年度に年1回以上ピア・サポーターの活動があった国指定のがん診療連携拠点病院等は、全国で153施設あった。

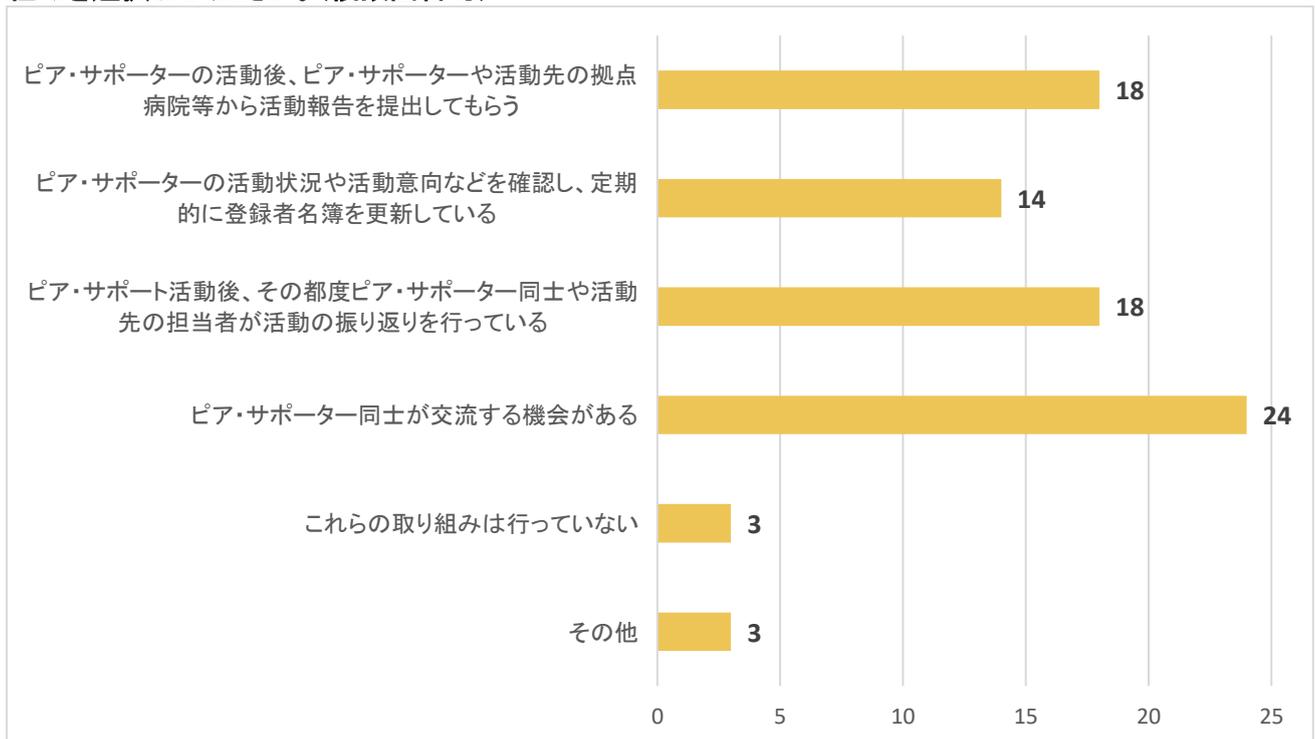
	都道府県	(16) 登録人数	(17) 活動可能人数	(18) 拠点病院数	(18) 年1回以上ピア・サポーターの活動があった拠点病院数	(18) 拠点病院での活動割合
1	北海道					
2	青森県	53	16		不明・未把握	
3	岩手県					
4	宮城県					
5	秋田県					
6	山形県	122	69	6	4	67%
7	福島県	32	32	7	5	71%
8	茨城県	90	不明・未把握			
9	栃木県	11	11	8	1	13%
10	群馬県	94	52	9	7	78%
11	埼玉県	51	46	15	7	47%
12	千葉県	140	72	16	13	81%
13	東京都					
14	神奈川県	108	57		不明・未把握	
15	新潟県					
16	富山県	181	126	10	10	100%
17	石川県	83	23	5	5	100%
18	福井県	5	不明・未把握	5	2	40%
19	山梨県	143	不明・未把握		不明・未把握	
20	長野県					
21	岐阜県					
22	静岡県					
23	愛知県	139	70	23	9	39%
24	三重県	11	10		不明・未把握	
25	滋賀県	54	54	5	5	100%
26	京都府	不明・未把握	不明・未把握		不明・未把握	
27	大阪府	58	58		不明・未把握	

28	兵庫県	124	不明・未把握	18	18	100%
29	奈良県	35	不明・未把握		不明・未把握	
30	和歌山県					
31	鳥取県	13	12			
32	島根県	17	16	5	5	100%
33	岡山県	8	8	1	1	100%
34	広島県	25	25	12	10	83%
35	山口県					
36	徳島県	40	11		不明・未把握	
37	香川県	18	16	5	4	80%
38	愛媛県	27	25	7	5	71%
39	高知県	0	0		不明・未把握	
40	福岡県	65	30	24	13	54%
41	佐賀県					
42	長崎県	24	19	6	5	83%
43	熊本県	33	33	7	6	86%
44	大分県	不明・未把握	不明・未把握		不明・未把握	
45	宮崎県					
46	鹿児島県	7	7	13	12	92%
47	沖縄県	86	65	6	6	100%
	合計	1897	963		153	

ピア・サポーターの活動の把握や、質の担保・燃え尽き防止の取り組み

登録されたピア・サポーターの活動の把握や、質の担保・燃え尽き防止のために行っている取り組みとして、「ピア・サポート活動後、ピア・サポーターや活動先の拠点病院等から活動報告を提出してもらう」「ピア・サポート活動後、その都度ピア・サポーター同士や活動先の担当者が活動の振り返りを行っている」「ピア・サポーター同士が交流する機会がある」が多く挙げられた。

(19)登録されたピア・サポーターの活動の把握や、質の担保・燃え尽き防止のために行っている取り組みを選択してください。(複数回答可)



※ピア・サポーター養成研修会をこれまでに一度でも実施したことのある43都道府県が回答

【その他（主な記載）】

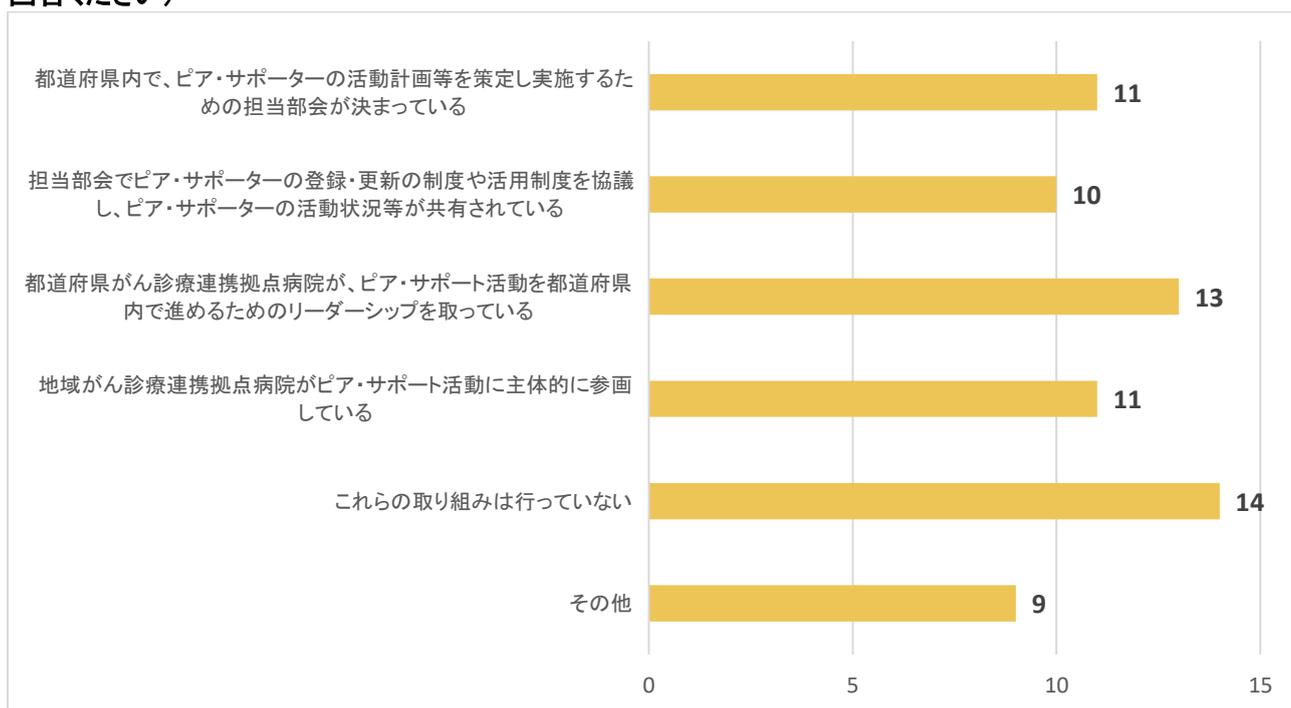
- ◇ フォローアップ講座を実施し、活動の振り返りやスキル向上を図っている。
- ◇ 年1回、登録ピア・サポーターとの活動ミーティングを実施。
- ◇ ピア・サポーターの活動時には、心理的な負担軽減のため2名体制で運営。
- ◇ 新たに養成派遣事業を開始予定で、活動報告提出や担当者との振り返りを導入予定。

ピア・サポーターの活動に関する部会等との連携

ピア・サポーターの活動に関して、がん診療連携協議会の相談支援部会等(以下部会)と連携している取り組みとして、「都道府県がん診療連携拠点病院が、ピア・サポート活動を都道府県内で進めるためのリーダーシップを取っている」「地域がん診療連携拠点病院がピア・サポート活動に主体的に参画している」が多く挙げられた。

一方「これらの取り組みは行っていない」と回答した都道府県は14都道府県あった。

(20)ピア・サポーターの活動に関して、がん診療連携協議会の相談支援部会等(以下部会)との連携について、行っているものを選択してください(研修実施の有無、ピア・サポーターの活動の有無にかかわらずご回答ください)



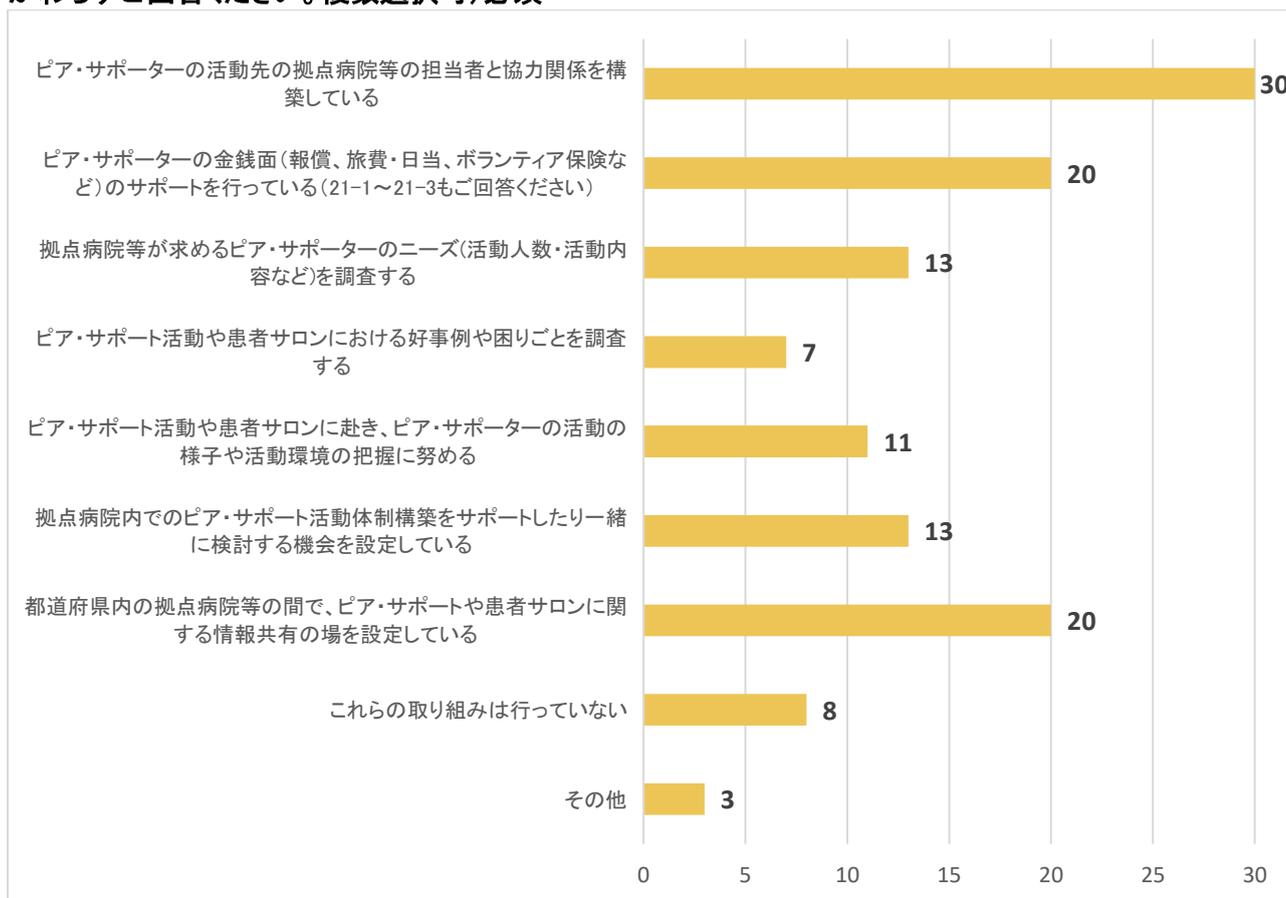
【その他（主な記載）】

- ◇ 必要に応じて情報共有や協議を実施する体制を整備。
- ◇ 部会や協議会に県・患者団体オブザーバーとして参加し、情報提供や意見交換を実施。
- ◇ 患者会や関連団体主催のがんサロンに相談員がオブザーバー参加し、運営・連携に関与。
- ◇ 部会の中にサロン担当者ワーキンググループを設置。WG を通じてピア・サポートを含めた連携を実施
- ◇ 養成研修修了者の実習やフォローアップ研修会を拠点病院と共催し実施。
- ◇ 各病院の相談支援やピア・サポート活動状況を部会で共有。
- ◇ ファシリテーター協力を県内各拠点病院に依頼。

拠点病院等でピア・サポート活動を普及するために行っている支援や取り組み

都道府県や委託先団体等が、拠点病院等でピア・サポート活動を普及するために行っている支援や取り組みについて、「ピア・サポーターの活動先の拠点病院等の担当者と協力関係を構築している」が最も多く挙げられた。

(21)都道府県や委託先団体等が、拠点病院等でピア・サポート活動を普及するために行っている支援や取り組みについて、行っているもの選択してください(研修実施の有無、ピア・サポーターの活動の有無にかかわらずご回答ください。複数選択可)必須



【その他(主な記載)】

- ◇ がん対策基金で「がんピア・サポート養成・相談支援事業」への女性
- ◇ 患者団体が実施するピア・サポート活動への補助金制度

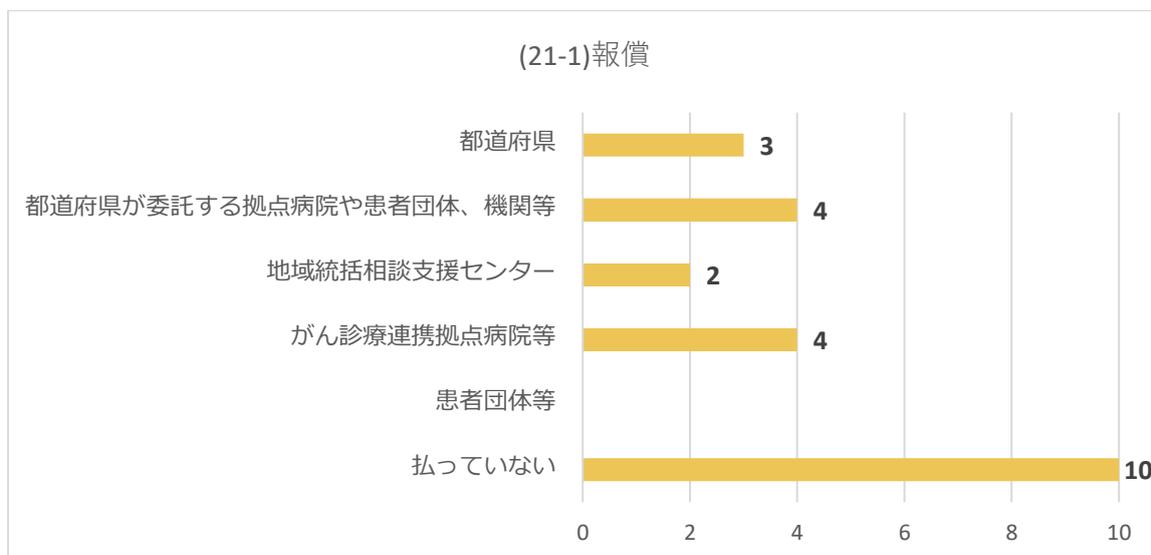
ピア・サポーターに対する金銭的な補助

ピア・サポーターの金銭面のサポートについて、報償は12都道府県、旅費は19都道府県で、都道府県・委託する団体、がん診療連携拠点病院等から支払われていた。ボランティア保険は17都道府県が加入していた。

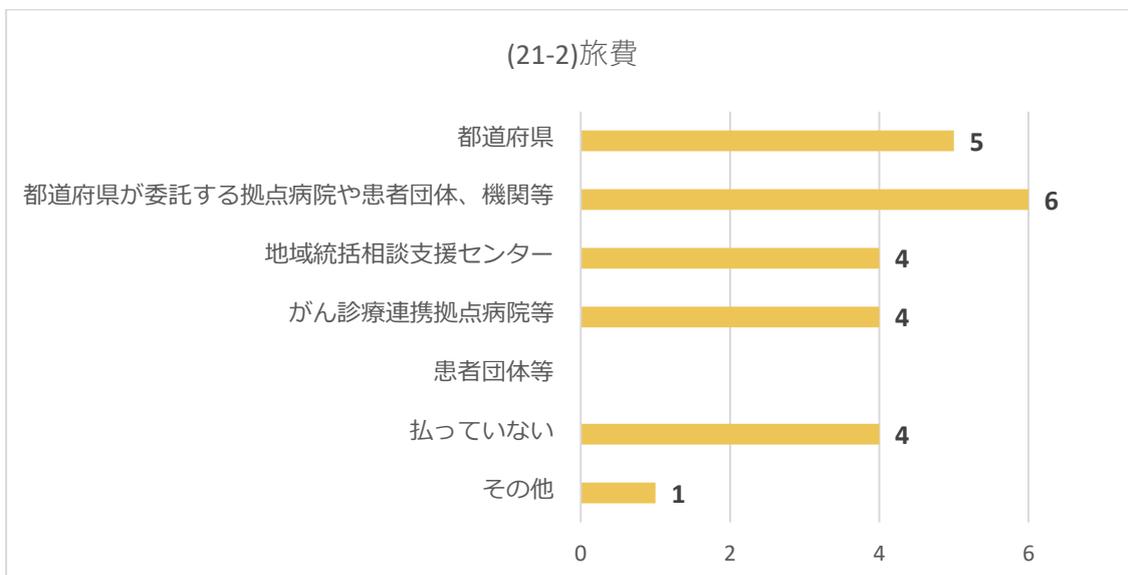
(21)	報償	旅費	ボランティア保険
支払い・加入があると回答した都道府県	12	19	17
支払元の内訳(複数回答可)			
都道府県	3	5	8
委託する病院や団体等	4	6	5
地域統括相談支援センター	2	4	4
がん診療連携拠点病院等(※)	4	4	1
患者団体等	0	0	0

(※) 一部の拠点病院で支払われている・加入している自治体を含みます。

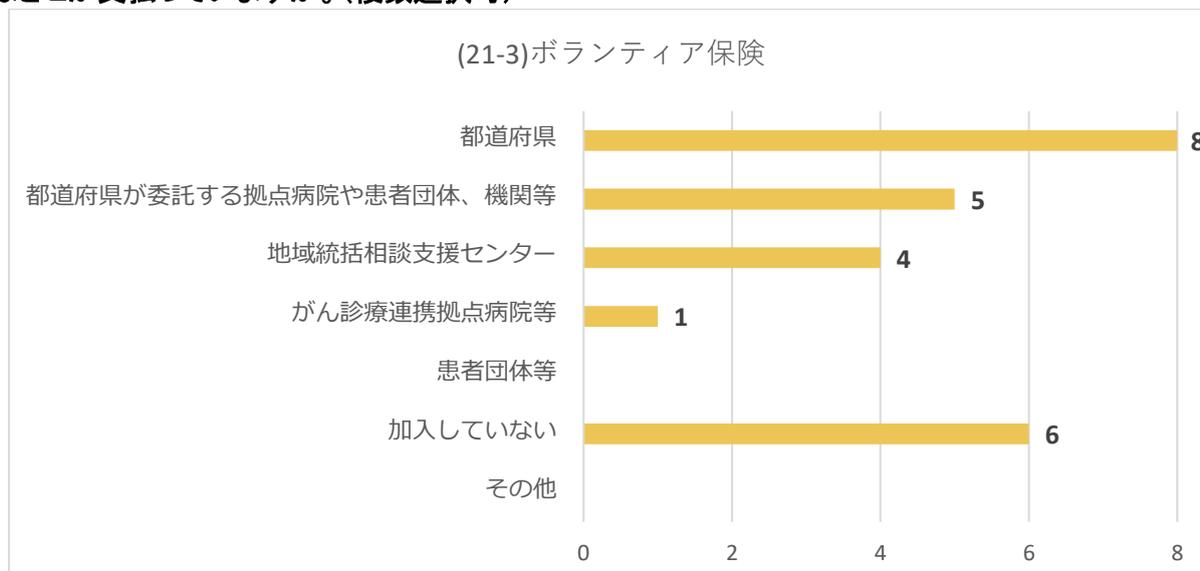
(21-1)【(21)で「ピア・サポーターの金銭面のサポートを行っている」を選択された方】報償はどこが支払っていますか。(複数選択可)



(21-2)【(21)で「ピア・サポーターの金銭面のサポートを行っている」を選択された方】旅費・日当はどこが支払っていますか。(複数選択可)



(21-3)【(21)で「ピア・サポーターの金銭面のサポートを行っている」を選択された方】ボランティア保険の費用はどこが支払っていますか。(複数選択可)



地域統括相談支援センターについて

ピア・サポーターの養成等、マネジメントを担ううえで活用が望まれる地域統括相談支援センターについて、設置している都道府県は15都道府県あった。そのうち13都道府県はピア・サポートに関する業務も行われていた。

(22) 地域統括相談支援センターの設置状況について教えてください。必須	数	割合
1. すでに設置されており、ピア・サポートに関する業務も行っている	13	27.7%
2. すでに設置されているが、ピア・サポートに関する業務は行われていない	2	4.3%
3. 地域統括相談支援センターと類似の組織がピア・サポートに関する業務を行っている	3	6.4%
4. 設置する予定はない。	29	61.7%
総計	47	100.0%

	都道府県	名称	設置場所
1. すでに設置されており、ピア・サポートに関する業務も行っている			
1	北海道	北海道がん総合相談支援センター	北海道がんセンター
2	宮城県	宮城県がん総合支援センター	公益財団法人宮城県対がん協会
3	山形県	山形県がん総合相談支援センター	公益財団法人やまがた健康推進機構
4	千葉県	千葉県地域統括相談支援センター	千葉県がんセンター内
5	富山県	富山県がん総合相談支援センター	富山県総合福祉会館（サンシップとやま）内
6	石川県	石川県がん安心生活サポートハウス	石川県社会福祉会館
7	山梨県	山梨県がん患者サポートセンター	公益財団法人山梨県健康管理事業団
8	三重県	三重県がん相談支援センター	三重県津庁舎内
9	大阪府	大阪府がん患者サポートセンター	大阪国際がんセンター患者交流棟 2F 特定非営利活動法人つながりひろば内
10	島根県	がん患者・家族サポートセンター	島根大学医学部付属病院
11	高知県	がん相談センターこうち	こうち男女参画センター（ソーレ）
12	佐賀県	さん愛プラザ	（公財）佐賀県健康づくり財団内
13	沖縄県	沖縄県地域統括相談支援センター	琉球大学病院がんセンター内
2. すでに設置されているが、ピア・サポートに関する業務は行われていない			
1	京都府	京都府がん総合相談支援センター	京都市南区東九条下殿田町 43 番地メルクリオ京都 2F201 号室
2	山口県	山口県がん総合相談窓口	山口県看護協会内
3. 地域統括相談支援センターと類似の組織がピア・サポートに関する業務を行っている			
1	茨城県	がん相談支援センター	県内がん診療連携拠点病院等
2	愛媛県	四国がんセンター 患者・家族総合支援センター暖だん	四国がんセンター
3	熊本県	熊本県がん連携サポートセンター	熊本大学病院